

報道関係 各位

2017年1月10日
公益財団法人日本デザイン振興会

東京ミッドタウン・デザインハブ 第63回企画展 地域×デザイン2017 -まちが魅えるプロジェクト- 開催 デザインを活かした地域の取り組みを展示とトークイベントにより紹介

国際的なデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区/構成機関:公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ)は、2017年2月3日より第63回企画展「地域×デザイン 2017 -まちが魅えるプロジェクト-」を開催します。全国から選りすぐった10件の地域プロジェクトを展示により紹介するとともに、日ごとにテーマを設定しゲストを招いたトークセッションやワークショップなどの関連プログラムも予定しています。本展は昨年2月に開催し、約1万人を集めた第56回企画展「地域×デザイン -まちを編みなおす20のプロジェクト-」に続く第2回目となります。

日本の各地でおこなわれている地域の特色を活かした取り組みを、昨年の企画展では地域がもつ価値を改めて見出し「まちを編集」すること、また生活・文化やコミュニティの「編みなおし」と考え、デザインの視点から分析、紹介しました。今回はその考えかたをもとに、デザインによって価値の転換を図り魅力に変えているプロジェクトを紹介します。

デザインには物事に潜む資源を発見し魅力を引き出す力があります。視点を変えるだけで、これまで当たり前や不利に思っていたことも特別な価値になり得ます。この「見立て」は古くから日本文化の中で醸成されてきた創造的なコミュニケーション手法であり様々な場面で活用することができます。本展に足を運んでいただいた方それぞれが、自分たちの地域や生活の中にも目を凝らして魅力を発見し、読み解き考える機会となれば幸いです。

本展は、グッドデザイン賞を主催する国際的デザインプロモーション機関である公益財団法人日本デザイン振興会と、プロジェクトデザインで社会を変革する力を持った人材育成を目指す事業構想大学院大学(東京都港区、学校法人日本教育研究団)が共同で企画運営をおこないます。

●企画概要

名称: 東京ミッドタウン・デザインハブ 第63回企画展

地域×デザイン 2017 -まちが魅えるプロジェクト-

[英文] Local Design Studies 2017: Projects for Revitalizing Communities

会期: 2017年2月3日(金)~2月26日(日) 11:00~19:00 会期中無休・入場無料

会場: 東京ミッドタウン・デザインハブ (東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

展示内容: 地域の特色を活かしたプロジェクトを紹介する展示とトークイベントを開催

主催: 東京ミッドタウン・デザインハブ

企画運営: 公益財団法人日本デザイン振興会、事業構想大学院大学

後援(予定): 内閣府、農林水産省、経済産業省

サポーター企業: 株式会社ジェイティービー、株式会社ゼンリン、

株式会社地域経済活性化支援機構、西日本電信電話株式会社、

株式会社ポニーキャニオン、株式会社モリサワ、株式会社ワイズ・ワイズ他

ウェブサイト: <http://www.jidp.or.jp/lids2017/>

一般お問い合わせ先: 公益財団法人日本デザイン振興会 事業部 (担当: 鈴木)

Tel. 03-6743-3777 E-mail. lids@jidp.or.jp

※ ビジュアルの用意があります。下記、報道関係のお問い合わせまでご連絡ください。



イベントのメインビジュアル
(design: UMA/design farm)



昨年の会場風景

報道関係お問い合わせ先: 株式会社オズマピーアール (担当: 松林、月田、鈴木)

Tel. 03-4531-0214 E-mail jdp@ozma.co.jp

Press Release

● 展示で紹介するプロジェクト



写真文化首都「写真のまち」プロジェクト(北海道・東川町)

国道・鉄道・上水道が整備されていないにもかかわらず、東川町は人口減少時代に定住者が増えている。その背景にある、写真甲子園、ひがしかわワイン、君の椅子、木エクラフト、株主制度など数多くのユニークな「町づくりの仕掛け」を紹介する。



アジアの若手デザイナーと東北の事業者を繋ぐ「DOOR to ASIA」(岩手県・宮城県ほか)

「DOOR to ASIA」は、アジアで活躍する若手デザイナーと東北地域の事業者を繋ぐ、“デザイナーズ・イン・レジデンス”形式のプログラム。12日間のプログラムで個と個が深く繋がることで、地方と世界の距離が縮まり、次々にアジアへの扉が開かれている。



木のおもちゃから広がる、南会津の林業再生とまちづくり「マストロ・ジェッペット」(福島県・南会津町)

福島県南会津で、デザイナーや製材業、木工職人など、木材利用の川上から川下までが連携して会社を設立。「木のおもちゃ」の製造販売を通じた林業再生に取り組んでいる。南会津を「木の町」「おもちゃの町」として盛り上げる、マストロ・ジェッペットの取り組みを紹介する。



グローバル×ローカル(兵庫県・豊岡市)

日本最大級のアーティスト・イン・レジデンス施設である城崎国際アートセンターを起点とした、演劇を使ったコミュニケーション教育、アートと温泉を融合させたプロジェクト、など、「グローバルを見据えたローカルな取り組み」を紹介する。



地場産業ブランディングと人材育成による地域拠点づくり「Toyooka KABAN Artisan Avenue」

兵庫県豊岡市は生産量と従業員数共に日本一を誇る鞆の生産地であり鞆産業は強い地域資源でもある。市内に販売と教育の中心となる鞆の拠点施設をもち、産業としての持続可能性を高めるための鞆製造の人材育成を核にして街づくりを積極的に行なっている。



愛のバッドデザインプロジェクト in 小豆島(香川県・小豆島町、土庄町)

島の日常生活で見かける「とるに足らない些細なもの」を探し、その「もの」に宿る機能や美しさを見出し記録するプロジェクト。これまであまり交流のなかった小豆島を構成する二つの町の若者たちが協働で実施した。



これからの日本の湯道具をつくる「YUIRO」(愛媛県・松山市)

日本最古の湯と言われる道後温泉。2017年から開始される大規模な改修工事を前に、地域活性と温泉文化の活性を目指して、地域の職人や企業と湯道具の進化を具体化しながら「湯道具」のブランドを立ち上げた。



離島と都会を結ぶ、小さな私設図書館「さんごさん」(長崎県・五島市)

長崎県・五島列島の福江島に、古民家を改修してオープンした私設図書館「さんごさん」。書棚に並ぶのは、島民や著名人から寄贈された「人生の3冊」。島民の憩いの場として愛され、また、地域に観光客を呼び込んでいるこの施設は、五島と東京の2拠点で多様な人を巻き込みながら開発された。



綾町の魅力を100年後に伝える「aya100」(宮崎県・綾町)

有機農業のまちとして知られる綾町の後継者不足による農業の衰退を食い止めるため、デザインの力を活用し、町の魅力をウェブや映像や写真で伝え野菜の販路を開拓。持続可能な地域づくりを目指すプロジェクト。



100年後の「工芸大国」を目指す、産地再生の取り組み「中川政七商店」(全国各地)

創業300年を迎えた麻織物メーカーの中川政七商店は、伝統工芸の産地再生を目指し、コンサルティング事業、お土産物の企画・デザインを支援する「日本市プロジェクト」、日本最大級の工芸イベント「大日本市博覧会」などを展開。日本の工芸を元気にするためのさまざまな取り組みを紹介する。

報道関係お問い合わせ先：株式会社オズマピーアール（担当：松林、月田、鈴木）

Tel. 03-4531-0214 E-mail jdp@ozma.co.jp

Press Release

● 会期中のイベント（一部）

みどころ1: オープニングカンファレンス *次ページのご案内状によりお申し込みください。

2月3日(金)【プレスレカンファレンス・特別講演】

14:30-15:50 プレスレカンファレンス／プレスツアー

16:00-16:50 特別講演: 株式会社中川政七商店 代表取締役社長 十三代 中川政七

みどころ2: 地域を活発に動かす自治体や首長による特別イベント

2月4日(土)【創造都市 Creative City × デザイン】

14:00-14:50 特別講演: 東川町のクリエイティブプロジェクト 東川町長 松岡市郎

2月8日(水)【シティプロモーション × デザイン】

14:00-15:00 特別講演: 品川区のシティプロモーション(仮) 品川区長 濱野 健

2月15日(水)【豊岡市 × デザイン】

13:30-14:10 特別イベント: 演劇的手法を用いたコミュニケーションワークショップ 平田オリザ

14:30-14:40 特別講演: 豊岡市長 中貝宗治

14:40-15:50 「小さな世界都市・豊岡」が取り組む人材育成 平田オリザ

16:00-16:40 靴を核とした「もち」づくり トヨオカカバンアルチザンアベニュー マネージャー 林健太

16:40-17:50 トークセッション: ローカル&グローバル 豊岡市長 中貝宗治 他

みどころ3: 日ごとのテーマによる各地のキーマンを集めたトークセッション

2月5日(日) 14:00-19:00【プレイスメイキング × デザイン】(順不同)

M・M project 株式会社オリエンタル群馬 中村慶之介

BUKATSUDO 株式会社リビタ 賃貸事業本部 CM(コミュニケーション・マネジメント)グループ 土山 広志

.tree修善寺プロジェクト 特定非営利活動法人NPOサプライズ 飯倉清太

HAGISO 代表 宮崎晃吉

コミュニティステーション東小金井 リライト 靱山真人

2月25日(土) 13:00-19:00【シビックプライド × デザイン】

くまもと手仕事ごよみ推進事業 熊本県 副知事 小野泰輔

shibuya1000 shibuya1000実行委員会 川添善行

新宮女子がつくる、新宮女子でつくる、新宮らしい、新しい地域活性化デザイン「新宮市魅力発信女子部」

特別講演: 選ばれ続ける地域とは JTIC SWISS 代表 山田桂一郎

2月9日(木)【シビックエコノミー × デザイン】

書生生活 一地域と住む、新しい学生のライフスタイルー NPO法人 街ing本郷 代表理事 長谷川大

住民とデベロッパーとまちをつくる HITOTOWA INC. 代表取締役 荒 昌史

食堂付きアパート(仮) 仲建築設計スタジオ 仲俊治

入居者向け食堂「トーコーキッチン」 有限会社東郊住宅社 池田峰

IDEA R LAB~岡山・玉島のクリエイティブリユース・プラットフォーム 有限会社アイデア 代表 大月ヒロ子

2月18日(土)【離島 × デザイン】

トークセッション: 愛のバッドデザインプロジェクト in 小豆島 小豆島町長 塩田幸雄、S&O DESIGN 清水久和

島に文化の交流拠点をつくる、「さんごさん」プロジェクト さんごさん 鳥巢智行、大来優 他

島と世界をつなげるクリエイティブのヒント 離島経済新聞社 鯨本あつこ

※上記は、スケジュール、発表内容が変更されることがあります。

※トークイベントは事前のお申し込みが必要です(参加費無料)。

※イベントは上記以外にも連日開催の予定です。下記にて随時更新しています。

公式ウェブサイト <http://www.jidp.or.jp/lds2017/> 公式Facebook <https://www.facebook.com/localsignstudies/>

※イベントのご取材をご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

報道関係お問い合わせ先: 株式会社オズマピーアール (担当: 松林、月田、鈴木)

Tel. 03-4531-0214 E-mail jdp@ozma.co.jp